

瀬戸内海広域漁業調整委員会 資料
平成 26 年 3 月 13 日

平成 26 年度サワラ共同種苗生産・中間育成・放流の取り組みについて

瀬戸内海海域栽培漁業推進協議会

瀬戸内海海域栽培漁業推進協議会は、(独)水産総合研究センターの指導・協力の下で、以下の取り組みを積極的に推進する。

1. サワラの種苗生産・中間育成・放流について

平成 26 年度のサワラ種苗生産は、関係 11 府県の協力のもとに合計 12 万尾を目標に生産を行う。種苗生産等には国庫補助事業「種苗放流による資源造成支援事業」を活用する。

①水研センター瀬戸内海区水産研究所・屋島庁舎にて 10 万尾

②大阪府水産技術センターにて 2 万尾

また、中間育成は放流サイズ 70 mm を目標として、関係府県が連携して取り組む。

(中間育成・放流＝大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、愛媛県、大分県で予定)

2. 屋島庁舎における共同種苗生産にかかる協力体制について

平成 26 年度は、24、25 年度の共同生産体制をふまえ、海域協議会各会員からの経費支弁、生産技術研修員の派遣、生産に必要な物品の提供等の一層の協力を得る。

26 年度の主な取組は以下の通り（別紙詳細）。

- ①適正サイズのイカナゴシラス等の安定的確保
- ②冷凍ワムシの確保
- ③餌となるマダイ受精卵の確保
- ④生産管理者、生産技術研修員等の人員配置
- ⑤必要経費の確保

サワラ共同種苗生産・中間育成・放流 25年度実績と26年度計画

生産目標と中間育成・放流

取組内容	H25 年度実績	H26 年度計画
水研センターとの協力協定と施設貸与	協定書を締結した。 施設費は無償とした。	H25 と同様に協定書を締結する。 燃料費・光熱水道料負担の必要あり。
生産尾数	水研センター屋島庁舎にて10万尾 大阪府水産技術センターにて2万尾を 目標とし生産した結果、水研センター 屋島庁舎にて9.5万尾、大阪府水産 技術センターにて1.6万尾を生産し た。	水研センター屋島庁舎にて10万尾 大阪府水産技術センターにて2万尾を 目標に生産する。
中間育成・放流	大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、 愛媛県、大分県が全長70mmを目標 に実施した結果、全長65.0mm～ 93.4mmまで育成して放流した。	大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、 愛媛県、大分県が全長70mmを目標 に中間育成し放流する。
採卵および卵管理	香川県および大阪府が実施し、香川 県が採取した授精卵から77万粒を水 研センターが卵管理して種苗生産に用 いた。放流効果把握のために水研セン ターが ALC 標識作業を実施した。	香川県および大阪府が採卵を実施 し、採取した受精卵を水研センターが 管理。放流効果把握のために水研セン ターが ALC 標識作業を実施する。

屋島庁舎における共同生産体制

取組内容	H25 年度実績	H26 年度計画
適正サイズのイカナゴシラスの安定的確保と給餌	香川県の援助を受けながら生産管理 者が中心となり、従来の購入先に加え 徳島県和田島漁協の協力を得るなど、 情報網を広げて確保に努めた（2月～ 4月）。 極小サイズのカタクチイワシシラス を餌として用いることの有効性が確認 された。	H25 と同様に実施する。イカナゴシ ラスよりも安価な カタクチイワシシラ スの利用を検討 しコスト削減に努め る。 カタクチイワシシラスの各府県への 新規協力を依頼する。
冷凍ワムシの確保	大阪府、和歌山県、山口県、香川県、 愛媛県、福岡県及び大分県が、合 わせて約1,300億個体の冷凍ワムシを 提供し、ワムシ総給餌個体数919億 個体のうち34%に相当する309億 個体を冷凍ワムシに置き換えた。	関係府県から500億個体 を事前入 手する。

マダイ受精卵の確保	<p>大阪府、和歌山県、兵庫県、山口県の5施設から入手した。</p> <p>山口県の卵は毎日発泡スチロール5箱分が宅配便で配送した。その他の施設からは、大阪府、和歌山県、兵庫県、香川県、瀬戸調および全国豊かな海づくり推進協会が連携してトラック等で輸送した。</p> <p>必要量の確保ができなかった日は、水研センターが飼育試験のために採卵したマダイ受精卵の余剰分を緊急的に提供を受けた。</p>	<p><u>香川県が屋島庁舎で養成する親魚より受精卵を入手する。</u></p> <p>香川県の養成親魚から受精卵が確保できない場合は<u>緊急対応として大阪府、和歌山県、兵庫県、山口県から入手する。</u></p>
必要人員数と配置	<p>生産管理者（1人）、生産技術研修員（42人日）、パート（4人）を配置した。</p> <p>生産技術研修員派遣の内訳：兵庫県（7人日）、愛媛県（14人日）、山口県（7人日）、徳島県（7人日）、海づくり協会（7人日）の延べ42人日。+瀬戸調、香川県からの人的協力あり。</p>	<p>生産管理者（1人）、<u>生産管理者補助（1人）</u>、生産技術研修員（56人日）、パート（4人）を配置する。</p> <p>ワムシ培養経験のある生産技術研修員を種苗生産初期に充てる。</p> <p>漁業者の積極的な応援を要請する。</p>
必要経費の確保	関係県より1,550千円確保した。	<u>協力県・金額の増を要請する。</u>